

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
470002	X-13/31-B-2-470002	4	海外研修	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
情報英語	阿部 聡			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	2年	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年	
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年			
<b>授業目的</b>								
海外夏期セミナーにおける授業科目の1つである。英語によって自分の考えや主張を相手に伝え、コミュニケーションができるようにするための技術を身につける授業を行う。また、海外夏期セミナーにおいて開講される「北米社会と情報」を理解するための情報技術関連の英語力修得を目指す。アルバータ大学エクステンション学部におけるESL (English as a second language 第二言語としての英語) 教育クラスの運営ノウハウを生かした授業構成となっている。また、多民族・多文化国家であるカナダにおいてグローバルな視点を涵養することも授業の目的である。なお、現地へ出発前(前期)に現地事情の概要および渡航関連項目の事前学習・研修を下記のように15回に渡って行う(「北米社会と情報」と共通。しかし事前学習・研修の中でも実際に英語を用いたり、英語でのプレゼンテーションの準備を行ったりする)。								
<b>各回の授業内容</b>								
<b>第1回</b> 【授】 オリエンテーション:カナダ夏期セミナー概要説明(日程・費用など) 【前・後】 事後:セミナー内容を熟読し理解しておくこと <b>第2回</b> 【授】 渡航準備:旅行会社航空券の予約開始、パスポート取得方法説明、eTA取得用クレジットカード作成の説明 【前・後】 事後:パスポートおよびビザ申請を開始すること <b>第3回</b> 【授】 渡航前書類の説明:学内書類(誓約書、奨学金交付願、保護者宛文書)の説明、配布 【前・後】 事後:配布書類を完成させること <b>第4回</b> 【授】 グループワーク:カナダ渡航の目的 【前・後】 事前:渡航目的を書き出しておくこと <b>第5回</b> 【授】 グループワーク:カナダ・アルバータ州の歴史と地理(調査) 【前・後】 事後:調査不足の部分は補っておくこと <b>第6回</b> 【授】 グループワーク:カナダ・アルバータ州の歴史と地理(発表) グループワーク:新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 <b>第7回</b> 【授】 グループワーク:カナダ・アルバータ州の歴史と地理(講義) グループワーク:新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 【前・後】 事後:講義内容をまとめておくこと <b>第8回</b> 【授】 渡航準備:ホームステイ申込書作成 グループワーク:新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 【前・後】 事後:ホームステイ申込書を完成させておくこと				<b>第9回</b> 【授】 グループワーク:新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 【前・後】 事後:内容を復習し、不明点は次回に質問すること <b>第10回</b> 【授】 渡航準備:フライト・入国の方法(税関・検査申告書記入の練習など) eTA申請の確認 【前・後】 事前:eTA申請を各自で行うこと。事後:内容を復習し、不明点は次回に質問すること <b>第11回</b> 【授】 渡航準備:フライト関係説明、成田までの移動手段確認 【前・後】 事後:内容を復習し、不明点は次回に質問すること <b>第12回</b> 【授】 渡航準備:海外(留学)旅行保険学内説明会、役割決定、研修日程表作成(報告書) 【前・後】 事後:内容を復習し、不明点は次回に質問すること <b>第13回</b> 【授】 渡航準備:成田までの交通方法決定・発表 【前・後】 事後:内容を復習し、不明点は次回に質問すること <b>第14回</b> 【授】 渡航準備:英語クラス発表、各種報告書の記入方法説明、行事確認 【前・後】 事後:内容を復習し、不明点は次回に質問すること <b>第15回</b> 【授】 渡航準備:渡航当日スケジュール最終確認 【前・後】 事後:内容を復習しておくこと <b>第16回</b>				
<b>成績評価方法</b>								
・事前学習の成績:出席点80%、レポート(研修日程表)20%で評価する ・留学時成績:レポート70%、最終テスト30%で評価する								
<b>教科書・参考書</b>								
短編小説、新聞、パンフレット、ウェブ記事などを含む多くのテキストを使用する。また、音声・映像教材も使用する。								
<b>受講に当たっての留意事項</b>								
・事前学習では現地事情および渡航に関する学習を行う。いずれも必須項目であるので、必ず出席すること。欠席の場合は補講を実施する。 ・留学先(アルバータ大学)の英語教育プログラムは4.5時間の授業が週5日・およそ4週間にわたり実施されるため1日でも欠席すると追いつくのが大変なので欠席しないこと。 ・英語文化圏におけるコミュニケーション技術向上に焦点をあてた授業であるため、普段から日本語でもコミュニケーション力をつけておくことが望ましい。 ・上記の時間以外でもホームステイなどを通して英語によるコミュニケーションのトレーニングが求められることを理解しておくこと。 また、下記のこと実施するので認識しておくこと。 ・プレースメントテスト(留学前):レベル別英語授業のための英語能力の確認 ・カンパセーション・クラブ:外国人との英会話練習 ・様々な場面における言語技術向上のためのトレーニング:ディスカッション、プレゼンテーション、実務処理の実行・対応、感情表現等の学習 ・ホームステイ:3週間のホームステイによる日常生活の中での英語体験とコミュニケーション技術の向上 ・出発までに1回はTOEICを受験しておくことを強く勧める。								
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施	○
<b>学習到達目標</b>								
履修後にTOEIC試験の点数を渡航前より100点以上アップする。 多民族社会・多文化社会における多様な英語に触れ、英語という言語そのものに対する視野を広げること。								
JABEE								

【授】:授業内容【前・後】:事前・事後学習